

## FD研修報告

法政大学FD推進センター主催 第4回FDシンポジウム

菊沢正裕  
2006.11.21

本報告の内容

1. シンポジウム概要
2. 厳格な成績評価とGPAに関するポイント
3. 同志社大学のGPA導入と公表
4. なぜ、「厳格な成績評価」やGPAがクローズアップされたか

### 1. シンポジウム概要

テーマ 大学教育に役立つ評価—GPA, 授業評価の活用法とその実践

日時 13:00~15:00 講演15:15~17:00パネルディスカッション

場所 法政大学市ヶ谷キャンパス (東京都千代田区富士見2-17-1)

参加者 80余名

講演概要

コーディネーター:

藤田哲也 (法政大学FD推進センター・プロジェクトリーダー, 文学部助教授)

#### (1) 「大学教育における評価のあり方とその活用——評価を評価する視点」

大塚 雄作 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

大学の教育評価は入学試験, 成績評価, 学位認定である。入試は高校との連携が, それ以外には社会との連携が必要である。しかし, 社会は「大学に教育を任せられない」といつている。社会の信頼を回復するために厳格な成績評価が不可欠である。

#### (2) 「GPA 得点分布公表と教育改革」

圓月 勝博 (同志社大学教育開発センター所長)

同志社大学では, 2000年よりFD委員会でGPA導入の検討を開始, 教育開発センター発足後の2003年より評価を実施。2006年度, 「情報環境の整備と成績評価の厳格化-学習支援システムDUETとGPA得点分布公表-」で, 文部科学省の特色GPに選定される。その実践例を講演。

#### (3) 「学生の学習を支援・促進するための成績評価制度作り」

西垣 順子 (大阪市立大学大学教育研究センター助教授)

前任地の信州大学教育システム研究開発センターでの実践例を報告。厳格な成績評価と授業評価には形成的評価 (フィードバックをかけながら授業・学習を改善する) の視点が必要。

### 2. 厳格な成績評価とGPAに関するポイント

#### (1) 大学教育の信頼性回復

社会は大学教育を信頼していない。信頼性を回復するためには, 教育内容を公開し, 透明性を高めなければならない。授業の中身と評価基準を表すシラバスと, 厳格な成績評価の結果を公開する必要がある。両者は, 車の両輪である。

#### (2) なぜGPAか?

- ・国際的互換性が高い。
- ・GPAでなければならない理由はない。ただ, GPAのような新しい方式を導入すると教育についての議論を始める契機となりやすい。

#### (3) GPA導入のメリット

- ・シラバス同様, 議論や公開によって隣の先生の授業の中身がわかり  
自己の授業改善につながる
- ・評価の統一性, 公平性が向上する
- ・大学の授業についていけない学生を早期に発見し, 指導できる

- ・同志社方式（ドロップアウトした授業のGPA=0を，その学生のGPAに組み込む方式）では，ドロップアウト率が改善される
  - ・優秀なGPAを修めた学生を表彰し，学習意欲を刺激する
  - ・就職や留学にGPAは利用できる
- (4) GPA関連情報
- ・何を契機に「厳格な成績評価」やGPAが取り上げられるようになったか. 大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について（2002. 10.26）」の中で，「…厳格な成績評価については，例えばGPAと呼ばれる制度を活用した取組…厳格な成績評価の実施により最低限の質の確保を行うと同時に，優秀な成績を修めた学生には表彰を行うなど，学生の意欲を刺激するような仕組みを導入することも重要である…」
  - ・100点満点方式とGPA（4段階）の学力を比較する研究によると，両者の差はあまりない.
  - ・大学審議会答申では，GPAの利用例として退学勧告をあげている. しかし，現実には退学勧告に利用する例はなく，むしろ教師や学生の問題点を早期に発見し，助言により教育または学習の改善を支援する契機となることが多い.
  - ・GPAの導入大学は，163校（23%，2003），2006年は200校以上，30%に達する模様. なお，シラバスの導入大学は690校（98%，2003）である.

### 3. 同志社大学のGPA導入と公表

- (1) GPA導入に至った経緯 <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/gpa/>
- ・「ブラックボックス化した成績評価を公的な議論の対象とすべき」との観点から2000年に検討を開始.
  - ・従来，学生用成績通知書には100点満点制度，対外用成績証明書には優良可制度を適用. GPAによって成績通知書と成績証明書の基準化を図り，両者の一本化を達成する.
  - ・学習意欲を向上させるために優の2分化による成績上位者の奨励制度を設ける.
  - ・安易な履修登録を抑制するために，不合格科目成績のGPAへの算入を行う・
- (2) GPA得点分布の公表
- ・教員の意識向上
  - ・学生の自己評価奨励
  - ・成績の信頼性向上

以上を達成する目的で，全科目の，教員名，受講者数，クラスのGPA割合，シラバスを学外に開示している. <http://compass.doshisha.ac.jp/info/gpaindex.jsp>